

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyac@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 杉浦文雄  
幹事 神谷強  
会報委員長 中川耕児

2019 ~ 2020年度 国際ロータリー マーク・ダニエル・マローニー 会長テーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3069回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=3週目]

2019年（令和元年）11月18日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈副会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……それどころロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事  
12:45 7. 副会長挨拶並びに副会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/25) ……職場例会（職業奉仕委員会）  
12:30 ~ 例会  
(株式会社デンソー5号館)  
13:05 ~ 見学（デンソーギャラリー）  
(12/2) ……  
クラブフォーラム（雑誌委員会）  
卓話「ロータリーの友について」  
講師 クラブ雑誌委員会  
委員長 丹羽 克誌 会員  
13:00 13. 本日のプログラム  
卓話「学生生活で感じたこと」  
講師 米山奨学生 趙 宰瑩 君  
(紹介者 磯部 一智 会員)  
14. 謝辞  
15. 点鐘……〈副会長〉  
16. 閉会宣言  
13:30 17. 散会

## 出席

会員総数 97名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 91名  
欠席 16名 出席率 82.42%  
前々回（10/26）の修正出席率 100%

## 副会長報告

- 1) 11月12日（火）刈谷特別支援学校、小垣江東小学校、日高小学校で学校訪問コンサートが開催され、内藤社会奉仕委員長に出席して頂きました。橋会員、今村会員にもご協力頂きました。





## 幹事報告

1) WFF 中止にともなうご報告が WFF 実行委員会から届きました。今回の WFF 中止に対して前売りチケットの払い戻しは行なわず、次年度以降の WFF 開催予備費として繰越し致します。尚チケット 1 枚につき 400 円のエンドポリオへの寄付金は計画通り寄付をするという事です。

## 副会長あいさつ

### 天下の奇祭 刈谷の万燈祭

加藤 繁則



私は、今年 3 月まで刈谷万燈保存会の会長を 3 期 6 年務めさせていただきました。その前、副会長・会計など役員を十数年、さらに保存会の前に町内の世話人を累計 14 年間、合わせて人生の半分近くを万燈祭と関わってきました。

わってきました。

万燈祭の起源について、「万燈祭は雨乞い祭」と言われてきました。「天保十三年（1842）刈谷の地が大干ばつに襲われ、秋葉堂において七日七晩の雨乞い祈願が行われました。七日目の夜、待望の雨が降り人々は喜び、家にある行燈を持ち出し振りかざし踊りました。」これが万燈祭の始まりだと言い伝えられて来たんです。子供のころからずっと信じてきました。

しかし、平成 9 年に刊行された河野氏著「天下の奇祭 刈谷の万燈祭」によってこの定説が覆されたのです。この著書によると、天保十三年よりさかのぼること 64 年、安永七年（1778）秋葉社祭礼の出し物として寺横町が「ひゅうひゅう町人万燈」を出したのが初めとされています。当初は「雨乞い」ではなく秋葉信仰ですので「火難防除」の意味合いが強かったようです。ただ、「雨乞い祈願」が全く関係無いわけではなく、度々「雨乞い祈願」にも参加していた記録もあるようで万燈が参加し

(2)

た「雨乞い祈願」はとってご利益があったようで、そんなところから山車の一番上には大きな番傘・その下には行燈を大きくした角万燈、いかにも天保十三年の話が影響されているようではないでしょうか。



## 卓話

### 「学生生活で感じたこと」

米山奨学生 趙 宰瑩 君



若い時から手でモノを作るのが好きだった。高校を卒業して 2010 年にギョンイル大学の工芸専攻に入学した。そこは伝統陶磁器や伝統的な家具を作る専攻だった。韓国の大学生は大変な大学の入学試験を経験し、

入学後はたくさんあそぶ事が多い。私もまた、楽しい 1・2 年生をすごした。ギョンイル大学の隣には嶺南大学という学校があった。広い敷地を持ち、周辺には店が多く、賑やかな環境の中にある。また、嶺南大学は面白い文化を持ちとても魅力的だった。

より広い環境、面白い大学生活を求め、編入の準備をした。また伝統陶磁や伝統家具の制作ではなく、よりクリエイティブな作業をしたかった。友達はみんな軍隊に行ったが、私は編入をして嶺南大学生生活製品デザインとして 3 年生になった。嶺南大学は韓国で 2 番目に面積が広く、で生徒数も多かった。たくさんの友達ができ、3 年生を楽しく過ごした。また同学年時に、学校で作った製品で特許を取り、会社とコラボレーションをして製品を生産し、各種コンペや大会に参加して賞や賞金ももらった。そして 3 年生が終えて軍隊に入隊した。韓国男性は一般的に 1 年生を終えて軍隊に行くことが多いが、こういった経緯で私は 3 年生を終えてからの入隊となった。就職準備の大切な期間でもあったので、そこに役立つ軍生活を過ごすために義務警察に入隊した。義務警察は陸軍所属で筆記試験と体力試験がある。一般陸軍と兵役期間は同じだが、警察の仕事を手伝う仕事だ。主

に、デモの警備や交通秩序維持、飲酒取締り、搜索をおこなった。

陸軍訓練所に入隊して訓練兵教育を受け、警察学校で警察の訓練を受ける。訓練所と警察訓練所で良い成績を取れば良い仕事に就くことができるので私は良い成績を維持し、慶南地方警察庁警備隊所属の自隊配置を受けた。軍隊では3ヵ月に一度、2泊3日休暇を取ることができる。また、そこでも優秀な成績であれば特別休暇制度もあった。

就職活動のために資格があれば有利であるし、さらに休暇も受けられるため、1年9ヵ月の兵役期間で7つの資格を取得した。そして満期退役をして4年生に入った。大学は、私の兵役期間中に多くの変化があり、慣れるまでに時間はかかったが、卒業作品を作って無事に大学を卒業した。韓国の大学でモノを作り、石膏型で大量生産することができ、自分が作った製品を誰かが使い、生活を豊かにできるという可能性を見出した。そして、さらに高度な技術習得のため、セラミックプロダクトの産地、愛知県立芸術大学への留学のための準備を始めた。日本に来て初めの1年は語学の勉強のため、大阪の語学学校に通った。また日本語をより身近に学べるように日本人と一緒に生活できるシェアハウスに住むことになった。そこでは10人で一緒に暮らしたが、みんな親切でとても楽しい生活だった。1年間、日本をたくさん経験して愛知県立芸術大学の研究生として入学することになった。

大阪から名古屋へ引っ越し、名古屋でもシェアハウスに住むようになった。愛知県立芸術大学は全学生800人ほどの小さな学校で山の中にある自然豊かな学校だ。陶磁器専攻は整った設備の中、学生みんなが一生懸命に作業をしている。これから私はセラミックデザイナーとして製品を作り、日常生活で自分の製品を使える日が来ることを目標に制作に励んでいる。

## 健康診断

